



# いちよう

発行所  
待乳山 本龍院  
〒111 東京都台東区浅草7-4-1  
-0032 TEL. 03(3874)2030  
FAX. 03(3874)5280

平成二十八年も皆様にとって、  
よい年でありますよう  
ご祈念申し上げます。

解説 札拝作法（おつとめのしかた）⑩

住職 平田真純

当山ご信徒が、待乳山の経本「大聖歡喜天禮拜作法」  
でおつとめする際の作法や意味をシリーズで解説いたし  
ます。

## ⑭ 結願文

我等所修三業善 えこうだいにちじようほっしん	大光普照観自在 だいこうふしょうかんじざい
回向大日淨法身 えこうほんぞんかんぎてん	受此供養増神力 じゆしくようぞうじんりき
回向本尊歡喜天 えこうけいらしよけんぞく	受此供養増補力 じゆしくようぞうほりき
回向雞羅諸眷属 ほうぞえいきゆまんみんらく	受此供養増補力 しきたいへいこうしようぼう
宝祚永久萬民樂 ごじむこうじよさいげん	四海泰平興正法 かないあんぜんとくきちじよう
護持某甲除災患 しんちゅうしよがんしつえんまん	家内安全得吉祥 えせほうかいがいじようじゆ
心中所願悉圓滿 しんちゅうしよがんしつえんまん	回施法界皆成就 えせほうかいがいじようじゆ

結願文は、お勤めを締めくくる言葉です。大意は、  
「私たちは良い所作、良いことば、良い意をもつておつ  
とめを修しました。」

すべての仏の大もとである大日如来様、そしてすべて

を普く照らす十一面観音様に感謝・回向いたします。  
本尊歡喜天（聖天）様に感謝・回向し、この供養に  
よって、お力がさらに増されることを祈念いたします。  
本尊様のご眷属に感謝・回向し、この供養によって、  
ご助力がさらに増されることを祈念いたします。  
皇位は永久に、万民は幸せに、世の中は泰平に、よ  
りよき道をたどることを願います。

深く信仰を實踐する者は、災厄を免れ、家内安全に、  
良い兆しを得、心中の願いは悉く円満に成就し、その  
功德が世の中すべてに回ることを祈念いたします。」

もとより人間というのは完璧にはなりえません。  
そんな私たちが、悩みや不安を含めた人生のさまざま  
まなことを、神仏に祈願できるといふこと自体、大変  
ありがたいことではないでしょうか。ましてや心をリ  
セットしてこの「札拝作法」でおつとめをできること  
は、すばらしい機縁に違いありません。

ものごとの成就はなるべくしてなるものであり、そ  
のため大きな助力をいただける本尊様に、さらにす  
べての縁ある衆生に感謝し、お返しをすることが仏法  
という大海の入口であることが、この「結願文」に示  
されています。（解説札拝作法 完）

# 待乳山だより

## 初詣

元旦は、午前0時に半鐘の合図で本堂を開放いたします。また午前二時から今年最初の浴油祈禱を厳修いたします。元日からのご祈禱は午前一時半までにお申し込みください。また、お正月期間限定の吉例の巾着守をお授けします。

### お属蘇捧持

三が日の間、本堂において信徒総代、世話人より当山名物の開運お属蘇と、お子様にはお菓子の接待がございます。お参りがお済みになりましたら、ぜひお召し上がりください。



### 特別即時祈禱

本堂内陣にて行者が皆様の新年の開運を祈願致します。  
祈禱料 三〇〇〇円也

### 毘沙門天様の特別参拝 元日〜十五日

普段本堂の奥におまつりしております浅草名所七福神の毘沙門様を、左手手前の仮座におまつりします。直接お参りできますので、ぜひご参拝ください。

### お宮参り・七五三参り・十三参り

ご宝前でお加持を授けられました。尊天様のご加護で健やかに成長されることをお祈りしております。

十一月十日青柳日真里ちゃん十一月十四日赤堀花歩ちゃん十一月十四日十時美里ちゃん



十一月十五日榎木くらちゃん十一月十五日谷本美結ちゃん十一月二十二日向山裕叶くん



十一月二十三日池田和花ちゃん十一月二十八日小松将太くん十一月二十九日各務利古さん



### ご奉納

今戸焼白井の白井裕一郎様より、歌川広重の浮世絵を一点ご奉納いただきました。



### 節分会 年男募集いたします。

年男とは、その年の歳神様をまつる家長の役目とされています。除災招福を祈念して、千支生まれの方や、厄年の方に限らず、ふろっでご参加ください。寺務所にてお申し込みください。  
費用 三万円  
(付き添い一人につき、五千元)

### 行事報告

十一月二十日(金)、御畳講大般若法要を執り行いました。その後、二日間かけまして本堂の畳替えを行いました。  
十二月八日(火)、御宮殿の御開扉がありました。

朝まいり会 十二月度表彰者(敬称略)  
半年 林知香 小笠原一恵 加藤政治  
一年 野坂泰史  
二年 坪井真美 伊藤聡  
十年 廣田稔明

# 待乳山本龍院 正月の行事

## 大般若講 大根まつり

一月七日(木) 午前十一時から午後一時半

講金 一、〇〇〇円(大根まつり整理券は無料)

浅草の正月の風物詩、大般若講大根まつりを執行いたします。大根は清浄、淡白な味わいのある食物として好まれ、体内の毒素を中和して消化を助ける働きがあり、また聖天様のお供物として古くから捧げられてきました。

また、真っ白な大根に、自分の迷いや怒りの心を預けてお供えすることで、聖天様が心の毒を清めてくださるとも考えられました。聖天様に清められたお下がりの大根を頂くことで、聖天様の功德を一層頂戴し、身体と心を健康にしていだけます。

そこで当山では昭和四十九年より、毎年正月七日に大根まつりを行い、元旦以来お供えされた大根を風呂吹き大根にして、お神酒と共にご参拝の皆様にご召し上がっていただいております。

当日はまず十一時より本堂で大般若法要を行い、皆様の今年一年の家の安全をご祈願いたします。法要終了後、参道において大根まつりを開始します。

風呂吹き大根は二千食限定で、九時から本堂でお配りする無料整理券が必要になります。みなさまのお越しをお待ちしております。



## 百味講

一月二十日(水) 午前十一時

講金 一、五〇〇円(籠供物二、五〇〇円)

声明と密教の修法をもって聖天様をご供養する百味講を行います。「百味」とはその名の通り、百の味覚のことを指します。多くの味覚をお供えし、尊天様に日頃の感謝の気持ちを表す法要です。

まず聖天様の御宝前には灯明の他に、野菜、果物、菓子などたくさんのお供物を供えます。その後、導師が聖天様をお迎えし、供養する修法を行い、出仕の僧侶は仏法を讃える声明をお唱えいたします。

法要終了後には、お申し込みをされた皆様にご宝前にお供えしたお供物をお授けいたします。また特別な籠入りの供物もございます。こちらは十個限定となっておりますので、事前にご予約ください。



# 正月行事予定

## 初詣

元旦（金） 午前0時 開堂

三が日、本堂で開運のお屠蘇を無料接待。午後一、二、三時には特別祈禱を執行。

## 大根まつり 大般若講

一月七日（木） 午前十一時 大般若講 講金 二、〇〇〇円也

身体健全を願う、名物風呂ふき大根をお召し上がりください。本堂にて無料でお配りする整理券が必要です。

## 百味講大法要

一月二十日（水） 午前十一時 講金 一、五〇〇円也

たくさんのお供物をお供えし、僧侶の声明とともに、尊天様をご供養いたします。

## 朝まいり会

一月八日〜十四日 午前八時から八時半 会費 月 五〇〇円也

都合のよい日にご参加ください。最終日には、お勤め終了後に食事作法と法要を行います。

## 日曜勤行

一月十日（日） 午前九時 参加費 無料

初心の方も気軽に参加いただけるおつとめの会です。

## 写経の会

一月十日（日） 午前十時／午後二時 会費 五〇〇円也

心を落ち着かせて写経することで、日常を離れ、自分を見つめ直しましょう。

※一月の坐禅の会はお休みさせていただきます。

## 合同大般若法要

一月二十五日（月） 午前十一時 法要料 五、〇〇〇円也

心願が成就し、より一層の御加護を頂くために、皆さんとご一緒にお上げする御礼の法要です。

## 二月の行事

節分会 二月三日（水） 午前三時

浴湯講 二月二十日（土） 午前十一時 講金 一、五〇〇円也

## ご祈禱のご案内

聖天様独特の供養法である浴油供は、密教の中で最も深秘の法とされています。この供養法は聖天様のお力がより一層高められ、私どもが不可能と思われるような願い事でも、孫天様の不思議方便のお働きを得て、必ず成就させて頂けるのであります。

当山ではこの浴油祈禱を、毎朝開堂と同時に厳修しております。寺務所にて受け付けておりますので、お名前とお願いの内容、祈禱期間をお伝え下さい。またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙でも受け付けております。どうぞお申込みください。

## 祈禱料

別座祈禱 壹万円以上（一週間）

浴油祈禱 三千五百円以上（一週間）

華水供 五百円／一日

（お札は出ません）